

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 57

千葉県立柏陵高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

人物、学習成績に優れ、本校を強く志望し、その志望理由が適切であり、本校の教育方針に適する資質及び能力を有し、次のいずれかに該当する生徒

ア 部活動等で優れた素質又は優秀な実績を持ち、入学後も引き続き学習との両立をはかりながら活動する意志を有する生徒

イ 特別活動・課外活動・ボランティア等の各種活動で顕著な実績又は取組を行った者で、入学後も引き続き学習との両立をはかりながら、その経験と実績を生かして活動する意志を有する生徒

2 選抜の資料

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	<p>次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択</p> <p>ア 実技による自己表現 実施形態：個人または複数で発表 発表後、発表内容等に関する質疑を行う 次の実技のうち1つを選択 野球(男)、ソフトボール(女)、サッカー(男)、陸上競技(男女)、 テニス(男女)、ハンドボール(男女)、バスケットボール(男女)、 バドミントン(男女)、フェンシング(男女)、バレーボール(女)、 剣道(男女)、吹奏楽(男女)、合唱(男女)、ダンス(男女) 検査時間：40分程度(種目により異なる)</p> <p>イ 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 本校の設定した複数の共通テーマの中から、受検生は1つ選択し、発表を行う 発表後、発表内容等に関する質疑を行う 検査時間：3分程度 (スピーチ発表2分間、発表内容等に関する質疑1分程度)</p>

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、イについて加点(上限50点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については50点を上限として加点する。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔96点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(非常に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(やや問題がある)・e(問題がある)の5段階で評価する。

aを16点、bを13点、cを10点、dを7点、eを4点とし、2名の評価者の評価(各48点満点)を合計し、得点化する。評価eがある場合は、審議の対象とする。

ア 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目及び質疑に対して、真摯に取り組む姿勢・意欲が見られる。 高校生活に対する目標・意識が明確であり、入学後も引き続き学習との両立をはかりながら、意欲的に取り組もうとしている。
(イ) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。 質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。
(ウ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。 質疑に対する発表が整理され、分かりやすく回答することができる。

イ 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表及び質疑に対して、真摯に取り組む姿勢・意欲が見られる。 高校生活に対する目標・意識が明確であり、入学後も引き続き学習との両立をはかりながら、意欲的に取り組もうとしている。
(イ) 発表内容	発表内容がテーマに即している。 発表内容がまとまっており、説得力がある。
(ウ) スピーチの技能	発表及び質疑におけるスピーチの基礎的技能を身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(自己表現)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	50点	96点	781点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面接を行う。